

第22回 現代世界の系統地理的考察

■■ 人口、村落・都市編 ■■

世界の村落・都市を見てみよう

監修・講師

田代 博

学習のねらい

人々が一定の場所に集まり、居住しながら社会的な生活をする空間を集落という。集落は、人口や産業構造から村落と都市に分けられる。集落の立地には自然条件や社会条件が関わっている。農林水産業を主体とする集落が村落で、形態的には集村と散村がある。商工業やサービス業を主体とする集落が都市で、機能分類される。住環境を基本的人権のひとつとして考えよう。

今回のポイント

- 集落の成り立ち
- 村落の形態と機能
- 都市の機能と生活

■■ 集落の成り立ち ■■

どうしてこんなところに、と思うような場所にも人びとは居住し、集落が形成されてきた。集落が立地するには、周辺の地形や水利、日照などの自然条件が影響を与えている。特に古い時代に成立した集落には自然条件が深い関わりをもっている。中でも水が得られるかどうかが重要である。砂漠では外来河川の付近やオアシスなどに集落が立地した。一方、沖積平野では、水害を避けるために自然堤防などの微高地に集まっている。

集落の立地には、防御や生産活動や交通の利便性などの社会条件も関わっている。人や物の交流が活発になると、社会条件が強く影響するようになる。谷口集落や港湾都市、交易都市はそうした例である。また、ブラジリアのように、格差是正などの政策により人工的に首都がつけられた例もある。

集落の成り立ちを、自然条件と社会条件の面から考えてみよう。

■■ 村落の形態と機能 ■■

村落は農林水産業を主体とする集落である。家屋の分布状況によって集村と散村（散居村）に大別できる。集村は家屋が密集したもので、村落共同体のまとまりで居住するには適していた。形態から塊村、円村、路村、林地村などがある。埼玉県三芳町の三富新田は江戸時代に開拓された新田集落である。農家は開拓路沿いに立地しており、短冊形の土地が、屋敷地、耕地、雑木林に区画されていた。

散村は家屋が離れて立地しているものである。富山県砺波平野が有名で、それぞれの家の周

